

思いやりの心を忘れず！

権利と義務、自覚と責任 平成20年度成人式

つたこと(1月11日(日)、成人になつたことを自覚し、成人になるべき抜こうと誓う新成人が、招待された。平成20年度の成人式が、大洲市民会館で開催され、舞う肌寒い日は、折り返しが舞う肌寒い日となり、お祝い袖やスーツに身を包んだ新成人475人と、関係者の合わせておよそ600人が出席しました。



▲答辞を述べる木ノ戸寿枝さん(大洲地区)

で、式典前のアトラクションは、吹奏楽部の演奏があり、「崖のポニー」など、新成人の成長を祝う曲が演奏され、和やか雰囲気で、稲田市長、西田市長、塚野市長、平野市長、久米市長、菅田市長、大川市長、柳沢市長、新谷市長、三多喜市長、八須市長、長浜市長、河川市長、河辺市長が出席しました。

られ、森市長は、「若さ」といふ言葉は、大切にして欲しい。大洲(大洲地区)は、「思いやりの心を忘れず、今という時代」としつかりと向き合おう、大切なことを見失うことなく、社会全体が明るくなるよう努めてまいります」と誓いの言葉を述べました。

友人からは、「新成人は、式典が終了すると、新成人のおさまたつていました。



▲花束受領者西田和希さん(肱川地区) 塚野静香さん(河辺地区)

平成20年度成人者数 (地区別)

地区	男(人)	女(人)	計(人)
肱南	24	23	47
久米	17	16	33
肱北	18	16	34
喜多	33	50	83
平野	35	27	62
平野	11	11	22
南久米	13	6	19
菅田	29	30	59
大川	4	6	10
柳沢	5	8	13
新谷	24	26	50
三善	8	4	12
八多喜	6	19	25
上須戒	3	5	8
長浜	66	53	119
肱川	18	14	32
河辺	5	7	12
計	319	321	640

(※平成19年度 686人)



▲長浜中学校吹奏楽部によるアトラクション



▲記念品の目録を受けとる久保勇人さん(長浜地区)



▲司会進行の清水裕迪さん(大洲地区)と石尾貴浩さん(大洲地区)

新成人が生まれた昭和63年度(1988年4月)1989年3月の主な出来事。

大洲地域

- 大成橋歩道橋完成
- 総合体育館完成

長浜地域

- 小長浜に無人物産販売所完成(現在は有人)
- 長浜町上水道第三次拡張事業完成

肱川地域

- 鹿鳴園 開園
- 大谷小学校相撲場完成

河辺地域

- ふるさとの宿完成

ニュース

- 瀬戸大橋が開通
- ソウル五輪
- 「平成」に改元

流行語

- 5時から男、しょうゆ顔
- ソース顔 など

ヒット曲

- パラダイス銀河 (光GENJI) など

シリーズ防災

災害時対応をグループ討議

新谷地区で図上訓練を実施

新谷地区自主防災組織（大塚弘一会長）が主催する「災害発生を想定した図上訓練」が1月28日（水）、新谷公民館で開かれ、自主防災組織役員など住民約40人が参加し、地震発生時の対応を討議しました。

想像力を働かせて 対策を考える

今回の図上訓練は、災害に直面した自主防災組織のリーダーとして、住民の安全確保に関する知識や判断力を身に付けることなどを目的に行われました。

参加者は、「地震が発生し、家具が倒れ、ガラスが割れて足の踏み場もない状態で、周りの家屋も倒壊し、助けを求める人がいる」という想定で、被害の予想や対策について考え、どうすることが最良の行動となるかを6班に分かれて討議しました。

様々な意見から学ぶ

グループ討議の後、話し合った結果を順番に1班5分程度で発表しました。



▲緊急地震速報を受信し素早く身を守る訓練

災害時には、一度にすべてのことに対応するのは困難なため、お互いが協力して状況を把握し、何を、どのような手順で、どう行うかを決めることが大切です。



▲自助、共助でできる活動は何かをグループ討議

各班の代表者からは「最初に近隣住民の安全を確認をすることが大切」「声をかけ合いみんなで避難するのが安全」「協力し助け合うためにも、まずは自分の身を守らなければならぬ」「高齢者や身体障害者などの要援護者の救護が最優先」などの発表があり、「芸予地震では、大洲でも地震発生後、すぐ電話が通じなくなりました。災害時の連絡方法を考えておかなければならない」「避難して家を留守にした場合、地域の防犯対策が必要」といった意見が出されました。

身近な取組が大切です

災害に備えるため、家具の固定や配置に気を付けるなど、家庭で一人ひとりができることから取り組みましょう。また、近所同士で協力し、被害を最小限に食い止めることができるよう地域の自主防災組織活動に参加しましょう。



▲各班討議の発表で被害者や参加者予想の発表

【問い合わせ先】

市役所危機管理課
24 2111
(内線352)



シリーズ防災
No.12

春季全国火災予防運動

【平成20年度

全国統一防火標語】

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

3月1日から7日までの1週間、全国一斉に「春の火災予防運動」が実施されます。まだまだ寒さが残り、家庭や職場でストーブなどの暖房器具や火を使用する機会が多く、ちょっとした不注意から火災が発生しやすくなります。火の取扱いには十分注意し、火の用心を心掛けましょう。

1 火の用心7つのポイント

- (1) 家の周りに燃えやすいものを置かない（タバコの投げ捨てや放火による火災の恐れがあります）
- (2) 油料理をしているときは、その場を離れない（来客や電話などで、その場を離れる場合は、必ず火を消しましょう）
- (3) 寝タバコやタバコの投げ捨てはしない（屋外では、携帯用の灰皿を使用しましょう）
- (4) 子どもにはマッチやライターで遊ばせない（子どもは、マッチやライターに興味を持ちやすいため、手の届く場所には置かないようにしましょう）
- (5) 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない（冷蔵庫の裏など、普段隠れているコンセントも、こまめに掃除をしましょう）
- (6) 風の強いときは、たき火をしない（乾燥注意報や強風注意報が発表されているときは、たき火をしないようにしましょう）
- (7) ストーブには、燃えやすいものを近づけない（ストーブの近くに洗濯物を干すのは、やめましょう）



まちのわだい



▲気合十分に基本の突きなどを繰り返す参加者

気合だ! 温泉みたいなもんだ!!

～極新空手の寒稽古～

1/3(土)

「年の初めにももの凄くつらい事をして、この1年間のりきろう」と、国際空手道連盟極真会館愛媛支部の寒稽古が、肱南公民館と肱北河原で開催されました。この寒稽古は、2002年から始められたもので第8回目。今年は、松山、新居浜、今治など県内の8道場から約60人が参加しました。

肱南公民館で入念に体をほぐし、突きなどの基本練習をした後、走って肱北河原へ。さっそく上半身裸になると腰まで川に入り、太鼓に合わせて「セイヤー、セイヤー、セイヤーッ!」凍てつくような水の冷たさを「気合」で吹き飛ばしていました。

1/4(日)

今年も1年元気よく

～第28回七草がゆ歩こう会～

新春の恒例行事となっている「七草がゆ歩こう会」(主催: 肱南自治会上田哲男会長)が、開催されました。大洲市民会館から歩いて菅田の少彦名神社と大洲神社を参拝して1年間の幸せを祈り、七草がゆを食べて元気に新年のスタートをきろうと、毎年開催されているものです。今年は、地元住民のほか、大洲小学校の児童や大洲南中学校の生徒など約500人がさわやかな汗を流しました。少彦名神社では、おすくな社中とボーイスカウト大洲第一団のみなさんが、「甘酒」と「ショウガ湯」でおもてなし。参加者らは冷えた体をあたためていました。

約6kmの行程を歩いて、ゴールの大洲神社に着くと、大洲婦道会や大洲南中学校の女子生徒らが作った「七草がゆ」が振る舞われ、参加者らは、湯気があがるできたての七草がゆを、「ふーっ」と息でさましながら味わっていました。



▲七草がゆを味わう参加者



▲真剣です

背すじを伸ばして

～新春書き初め会～

1/6(火)

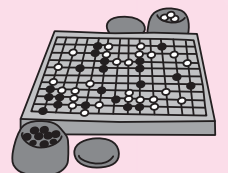
新春書き初め会(大洲市教育委員会など主催)が、喜多小学校で開催されました。この書き初め会は、毎年冬休み中に行なわれているもので、今年市内の小学3年生から中学3年生までの希望者約240人が参加しました。「はと」「希望」「出発」など学年ごとに課題が決められ、小学4年生の教室では、「元気」に挑戦しました。

「名前も作品の一部です。最後まできちんと書きましょう」と先生から指導を受けると、児童らは、さっそく背筋を伸ばし姿勢をただと、半紙いっぱい力強く筆を運んでいました。

1/11(日)

初打ち 真剣勝負!

～新春囲碁大会～



夏冬合わせて第87回目となる囲碁大会(市文化協会長浜支部主催)が、長浜ふれあい会館で開催されました。今年の新春囲碁大会には、市内の愛好者ら17人が参加。今回もA級、B級の2クラスに分かれて行われました。

参加者らは、今年の初打ちとあって真剣そのもの。この日は肌寒い一日でしたが、盤上では熱い戦いがくりひろげられました。

大会の結果は次のとおりです。

大会結果 (敬称略)

囲碁A級	優勝	谷岡 照基 (豊茂)	準優勝	塚木 弘基 (長浜町出海)
	第3位	石川 仁 (五郎)		
囲碁B級	優勝	中田 正直 (長浜町上老松)	準優勝	山下 一仁 (長浜町上老松)
	第3位	黒田 教示 (長浜町沖浦)		

まちのわだい



▲水書を披露する松山大学の水泳部員

身を切るような冷たさの中 伝統の技を披露

～第55回 大洲市寒中水泳大会～

1/12(月)

成人の日に、肱川橋の上流で恒例の寒中水泳大会（主催：大洲神伝流保存会・大洲水泳協会ともに今井要会長）が開催されました。当日は、気温4度、そして水温は7度。時折り雪が舞う寒空の下、一般参加者による寒中水泳のほか、大洲神伝流保存会の会員により二段伸び、はがい伸び、甲冑業、武者業などの古式泳法が次々に披露されました。また、愛媛大学と松山大

学の水泳部員が「祝成人の日」と色紙に書く「水書」や傘を持って泳ぐ「日傘」を行い、川岸にかけつけた多くの観客から、盛んな拍手を浴びていました。

一般参加者の寒中水泳では、最高齢の田中恒雄さん(68)と最年少の田原穂乃美ちゃん(4)を含む約60人が、寒さに震えつつも観客からの応援の声に励まされ、力強く肱川を泳いでいました。

この神伝流泳法は、全国に伝承されている十二の古式泳法のうち、日本国内にもっとも普及した流派の一つで、大洲が発祥の地とされています。

1/15(木)

第6回明老大学(肱川公民館)

今年度6回目となる公民館高齢者学級「明老大学」が、肱川公民館で開催され、山の上にはまだ雪が残る寒い中、学級生16人が元気に参加しました。

午前中は、第2回の陶芸教室で制作した、湯飲み、皿、花瓶などに絵付けをしました。学級生は、大きな鉢に魚の絵を描いたり、今年の干支である丑を描いたり、思い思いの絵を描き、世界に1つだけの作品を作りあげていきました。

午後からは、介護予防教室と健康体操が行われ、保健師さんから「バランスのよい食事を摂ることが大切です。低栄養状態にならないよう気をつけましょう」と話がありました。バランスよく栄養を採ることができるようにと、色々な食品を6つの基礎食品群にわけけるグループ作業などを行い、学級生は、普段の食生活を見直すとともに、何が不足しているかを知ることができたようです。

適度な運動とバランスのよい食事に心がけ、これからも元気に過ごしたいですね。



▲よし！もらった！

寒さを吹き飛ばせ！

～河辺地区体育協会長杯スポーツ大会～

2/1(日)

スポーツを通じての健康増進と、心のかよう地域づくりを目指して、河辺地区体育協会長杯スポーツ大会が開催されました。

体育協会合併後初となる今大会の種目は、ゲートボールとレクリエーションバレーの2種目。この日会場の河辺中学校に集まったのは16チーム120人。選手らは、和気あいあいと楽しみながらも、寒さを吹き飛ばすような白熱した試合を行いました。

レクリエーションバレーの部はウーマンパワー炸裂。女性のみで編成された「火曜会Bチーム」が迫力あるプレーで、見事優勝。ゲートボールの部は、日頃の練習の成果を発揮した「植松Aチーム」が優勝しました。

▶縄張りがされ地鎮祭が行われた拓海工業団地



100人まで雇用拡大が図られる計画です。

新工場は、5月に完成する予定で、操業開始時には約20～30人の雇用が見込まれています。4年後には、約100人まで雇用拡大が図られる計画です。

行われました。

クノ工場」の地鎮祭が行われました。

品工場となる「ブルームクラーシック愛媛テ

部早巳社長)の新たな

ルームクラーシック(田

の拓海工業団地で(株)

1月7日(水)、長浜

の誘致に努めているところ

の発展を目的として、

市民生活の安定と市の

興や雇用の確保を図り、

立地を促進し産業の振

大洲市では、企業の

長浜拓海工業団地の新工場
地鎮祭